

## 成績を急上昇させるポイントは3つ

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1. 大学入試、高校入試の各教科の試験問題には、難しい内容が数多く含まれています。また、膨大な量の文章が含まれています。これから10月中旬までの約4か月の間に、現在の塾生と、夏期講習会に参加する塾生、9月から入塾する塾生の皆様全員が、短期間で成績を急上昇させ、2学期の学校成績と夏休み明けからの模擬試験の偏差値を大幅に伸ばし、第一希望校への入学を果たすにはどうしたらよいでしょうか。

- A. (1) それでは、真正面から考えてみましょう。大切なポイントは、3つあります。
- (2) ①「新聞を含む読書による読解力」、②「辞書の活用による語彙数(知っていることばの数)」、③「三大練習による定着」です
- (3) 学校の定期試験でよい点数を取り学校成績を急上昇させる、模擬試験でよい点数を取り偏差値を急上昇させる、入学試験でよい点数を取り希望校への合格を果たす、3大検定試験でよい点数を取り合格を果たす、つまり定期試験、模擬試験、入学試験、3大検定試験などの「試験でよい点数」を取り、短期間で成績や偏差値を急上昇させて合格を果たすためには、この3つが必要不可欠です。

Q 2. この3つの中で何が一番必要ですか。

- A. (1) 最も大切なのは、「読解力」です。「読解力」とは「文章を読み解く力」です。
- (2) 「試験でよい点数を取る」ためには、「読解力」が何より大切です。



Q 3. なぜ「読解力」なのですか。

- A. (1) 試験には、決められた時間内に問題文を正確に読み、正しい解答を出すという「ルール」があるからです。決められた時間内に、その試験のすべての「問題の本文」、「設問」、「選択肢」に何が書いてあるかがよく「理解」できなければ、正しい答え、「正解」を出し、その「試験でよい点数」を取ることはできないからです。
- (2) 定期試験、模擬試験、3大検定試験、入学試験と、各科目の試験の問題に含まれる文字数は、かなりの分量です。
- (3) 「試験問題に書いてある難解な、また、かなりの分量の内容」のすべてを、決められた試験時間内に正確に読み込み、正確に理解する力、つまり、「読解力」がなければ、正解を出すことはできません。まして、「試験でよい点数を取る」、「成績や偏差値を急上昇させること」、入学試験や3大検定試験などの「試験に合格すること」はできません。このように、試験には、問題を正確に読んで正解を出すために「読解力」が絶対に必要です。



Q 4. 「読解力」はどのように身に着けたらよいのですか。

- A. (1) 本や新聞をじっくりとよく読むことに尽きます。本や新聞をじっくりとよく読むことで、「読解力」が身に着きます。「新聞を含む読書をする習慣」を身に着け、「新聞を含む読書に励む」ことで、「読解力」を確実に身に着けることができます。
- (2) 学校成績や模擬試験の偏差値を急上昇させたい、3大検定試験や希望校の入学試験に合格したい、そう希望する方は「新聞を含む読書の習慣」を一日も早く身に着けてください。

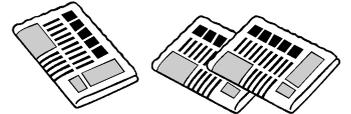
Q 5. 「読解力を身に着ける」ために、どのような本を読んだらよいのですか。

- A. (1) 学校や開倫塾の各科目の「教科書」に載っている本、紹介されている本や、学校の「図書室」や公立の「図書館」においてある本、皆様のご「家庭」にある本がお勧めです。

- (2)新聞は、「家庭」で購読している新聞や、学校の「図書室」や公立の「図書館」においてある新聞をお読みください。
- (3)できれば1つの新聞だけでなく、いくつかの新聞を読み比べると、同じテーマでも新聞社によって取り上げ方が違うことがわかります。

**Q 6. 「読解力を身に着ける」ために、どのように本や新聞を読んだらよいですか。**

- A. (1)まずは、「1日30分本を読む」こと、「1日30分新聞を読む」こと、「1日に本と新聞を合計して1時間読む」ことをお勧めします。本と新聞を合わせて1時間読む習慣を1日も早く身に着けてください。
- (2)小学生も1日1時間本や新聞を読んでください。小学生は4年生になったら本格的に新聞を読んでください。自分で興味があるところ、読みやすいところからスタートしてください。
- (3)夏休み中は、昨日の新聞と1冊の本をカバンの中に入れて開倫塾に毎日通塾してください。そして、開倫塾で、「長時間自己学習」として毎日1時間は「昨日の新聞」と「1冊の本」をじっくりと読んでください。これを夏休み中続ければ、「読解力」が必ず身に着き、偏差値が急激に上昇します。



**Q 7. 本や新聞を読むときの工夫はありますか。**

- A. (1)元気な方は、本を読んでいて気に入ったことばや文章に出会ったら、ノートに書き抜いておくことをお勧めします。つまり、「書き抜き読書ノート」を作ることをお勧めします。
- (2)また、「家庭」の新聞を読んでいて気に入った記事があったら、はさみで切り抜いてノートに貼っておく。「図書館」の新聞は、料金を支払って「コピー」してもらいノートに貼っておく。つまり、新聞記事の切り抜き帳、「スクラップブック」を作ることをお勧めします。
- (3)この本の「書き抜き読書ノート」と新聞の「スクラップブック」は、皆様の宝物となります。どうか大切に保存し、繰り返し繰り返し、一生かけて読み直してください。



**Q 8. 最後に一言どうぞ。**

- A. (1)今まであまり勉強せず部活動などに励んできた受験生の場合は、高校入試、大学入試ではとりあえず偏差値45、50、55を突破しなければなりません。
- (2)中学校入試、高校入試、大学入試で難関校を目指すには、偏差値60、65、70を突破しなければなりません。
- (3)受験科目の勉強にいくら励んでも、偏差値を5以上短期間で上げるのは「至難の業（しなんのわざ）」です。
- (4)現在の偏差値と希望校の偏差値とのGAP（差異）が5以上ある場合にはどうしたらよいのか、10以上、15以上、20以上ある場合はどうしたらよいのかが、ここでのテーマです。
- (5)言い方を変えれば、偏差値を5以上確実に上げるには、ここで議論されている3つのポイントを確実に行えばよいということになります。特に、新聞を含む読書を毎日1時間以上行い、「読解力」を身に着けることは、偏差値急上昇の第1条件です。
- (6)もっと言えば、ここで議論しているのは偏差値を安定させて下げない方法でもあります。その第1が、本と新聞を毎日1時間読み、「読解力」を身に着けることです。そう考えて、この文章を執筆しました。是非、実行してください。



**Q 9. その第2と第3は何ですか。**

- A. (1)第2は、「辞書の活用により語彙数（知っていることばの数）を増やすこと」です。
- (2)第3は、「定着のための三大練習、つまり音読練習、書き取り練習、計算・問題練習による定着」を繰り返すことで、テキストや教材、一度チャレンジした試験問題を解答、解説も含め、スミからスミまで身に着けることです。こちらも実行してくださいね。

以上  
宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授  
作新学院大学 客員教授